年間授業計画　新様式

高等学校　令和7年度（１学年用）　教科　芸術　科目　書道Ⅰ　年間授業計画

単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　F 組

使用教科書：（ 書道Ⅰ　光村図書 ）

教科　**芸術科・書道**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。歴史的な名筆や現代の書の多様な表現を理解するようにする。	漢字, 仮名, 漢字仮名交じり書の美しさを深く味わい、技法を習得し、目的や意図に即した表現を創意工夫したりすることができるようにする。	生涯にわたり書道を愛好する心情を育むとともに，書の多様性について理解し、書道文化に親しみ、書道によって感性を高め、心豊かな生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

科目　**書道Ⅰ**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	感性を高め、書の伝統や
用筆・運筆の基礎的な技能を習得後、より高度な表現方法や形式、多種多様な筆法を学習する。　書写能力の向上を図ると共に書の伝統に基づき、より効果的に表現するための技法理論を理解する。	書の伝統と文化の意味や価値を深く理解し、意図に基づいて構想表現した作品の美について考え模索する力を育成する。意図に添った書を表現する為にどのような技法が必要かを思案し、書の美しさを感受し追求する心を育てる。	自主的に書の表現活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

	単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	配当時数
1学期	書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関連性を理解する。 用筆・運筆から生み出される書の表現方法を理解する。	①書道の三分野 漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書 臨書・鑑賞・創作学習方法があることを理解する。 ②小・中学校　国語科書写と高校書道の学習の違いを理解する。	【知】①芸術書道で学習することを理解している。 ②小・中学校　国語科書写で学習した内容を理解している。 【思】①小中学校　国語科書写で学習した用筆を理解している。		○	○	○	11
	【思考力・判断力・表現力等】 生活や社会における書の効果 【学びに向かう力・人間性等】 自主的に書道の幅広い表現の学習に取り組む	③国語科書写で学習した内容を確認する。 （筆使い・字形など）	【態】①高校書道学習を主体的に取り組んでいこうする態度を養っている。 ②小・中学校　国語科書写で学習した内容を主体的に振り返っている。		○	○	○	
	定期考査							
	漢字の書（楷書） 【知識及び技能】 書風と古典に基づく用筆・運筆 【思考力・判断力・表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想工夫 【学びに向かう力・人間性等】 楷書の美表現を鑑賞し学習に取組む。	①楷書の用筆・運筆、結構や字形の取り方について理解する。 ②古典を臨書する意義について理解する。 ③唐時代の四大書家の楷書作品の臨書から各書風の違いを理解し、技法を習得する。	【知】①楷書の臨書を通して唐の四大家の作品の字形や線質点画の特徴を理解している。 ②唐の四大書家の作品の特徴を表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】①鑑賞を通して唐の四大書家の楷書作品の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】臨書に関心を持ち書美を理解しようとしている		○		○	11
	定期考査							
2学期	漢字の書（行書） 【知識及び技能】 書体や書風と用筆・運筆との関わり 【思考力・判断力・表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力・人間性等】 行書の美表現を鑑賞し学習に取り組む。	①行書の特徴を理解する。 ②行書の用筆・運筆技法を理解し習得する。 ③書道史における書聖・王羲之と蘭亭叙について理解する。 ④蘭亭叙を鑑賞し、卒意の書ならでわの多様な書きぶりを理解する ⑤蘭亭叙の美しい字形・筆脈・筆使い・抑揚を意識し臨書する。	【知】①行書『蘭亭叙』の臨書を通して作品の字形や線質・点画の特徴を理解している。 ②『蘭亭叙』の鑑賞を通して作品の用筆・運筆の技法を理解している。 【思】①蘭亭叙』の鑑賞を通して書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】行書の字形や用筆に関心を持ち書美を探求したか。		○		○	15
	定期考査							
	仮名の書 【知識及び技能】 古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質を生かした表現 【思考力・判断力・表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【学びに向かう力・人間性等】 仮名の美表現を鑑賞し学習に取組む。	①仮名の成立について理解する。 ②仮名の基本的な用筆・運筆を理解し習得する。 ③平仮名の字源を知り、正確に字形を捉える。 ④変態仮名について理解する。 ⑤平安時代の繊細かつ優雅な古典作品を鑑賞し典型的な仮名の美を感じとる。 ⑥古典作品の和歌を基に『連綿』の法則を理解し臨書する。	【知】①仮名の臨書を通して平仮名・変体仮名の字形や線質、連綿の法則を理解している。 ②平仮名・変体仮名の字形や線質を表現するための用筆運筆技法を理解している。 【思】①鑑賞を通して唐の平仮名の形や線質、変体仮名の多様性を理解し臨書に生かしている。 【態】①仮名に関心を持ち典型的な古典作品の美しさを理解しようとしている。			○	○	15
	定期考査							
3学期	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字と仮名の調和した線質による表現と目的や用途に即した効果的な表現 【思考力・判断力・表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ全体の構成と意図に基づいた表現字形、全体の構成について 【学びに向かう力・人間性等】 書の魅力や美しさを感受し、自主的に幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む。	①　漢字仮名交じりの書　の特徴を理解する。 ②　漢字仮名交じりの書の作例を鑑賞し漢字と仮名の調和や自由表現・紙面構成などの特徴を確認する。 ③　書く言葉を決め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かす作品構想を練る。 ④　書体・書風・紙面構成・用具・用材などの観点で作品の構想を練る。 ⑤　試作を重ね表現を工夫し、作品を仕上げる。 ⑥　作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	【知】①漢字仮名交じりの書の特徴を理解している。 【思】①書く言葉の深意を表現できたか確認する。 ②表現の目的や用途に即し、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かす作品構想が練れたか。 ③調和した紙面構成が取れたか。 ④互いに創作した作品を鑑賞し批評し合うことで表現の意図を再認識する。 【態】漢字仮名交じりの書の創作に関心を持ち主体的にとりくんでいる。 書美を探求した。	○			○	18
	定期考査							
								合計 70